



乙丸

僕専属メイドが
言うことを聞かない

夜のご奉仕で主従逆転!?

僕専属メイドが言うことを聞かない
～夜のご奉仕で主従逆転！？～

第4話





担当替えなど
必要ない

却下だ!!



…やはり
気のせい
でしたね

何か
言ったか

いえ…



お前に
やられっ放しは
気に食わないから
付き合ってるだけだ

それを
忘れるなよ
メアリィ



!

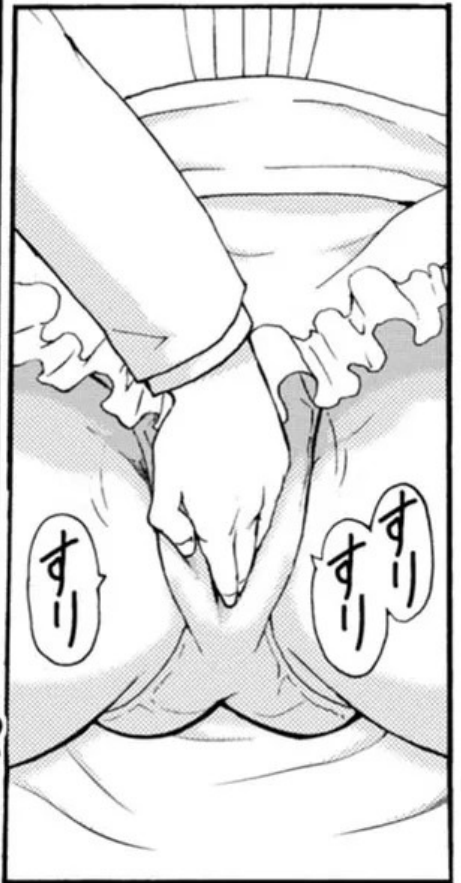
ビクッ



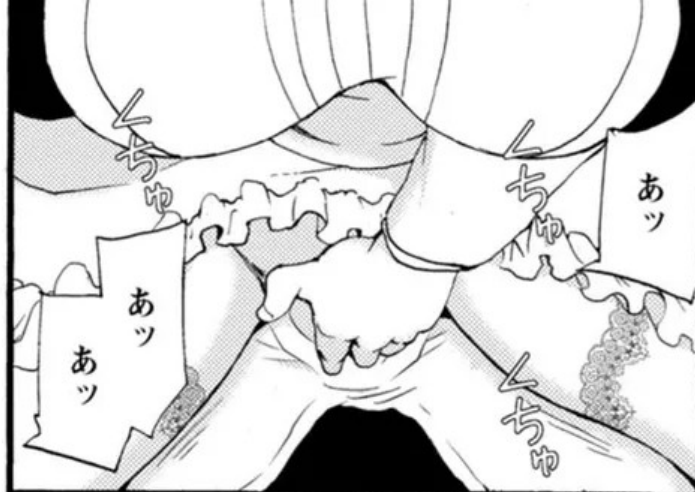
ですが
坊っちゃんま

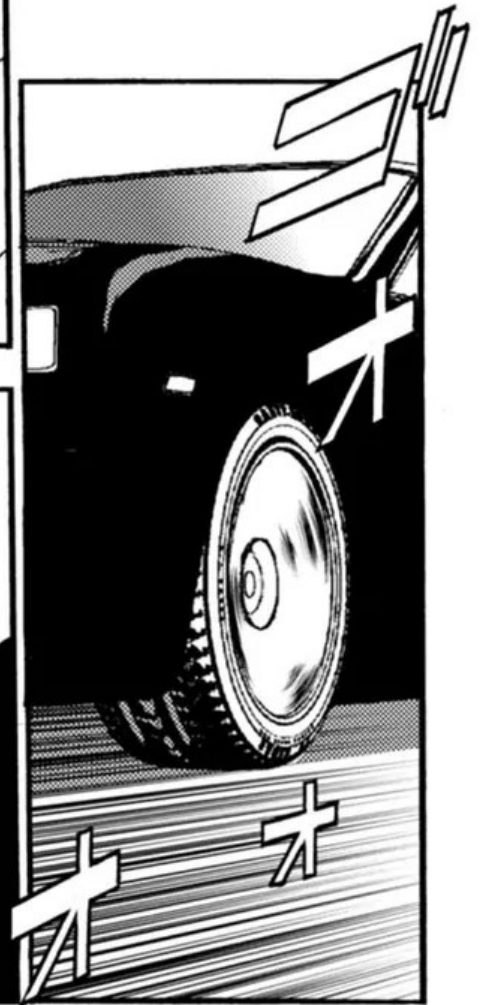
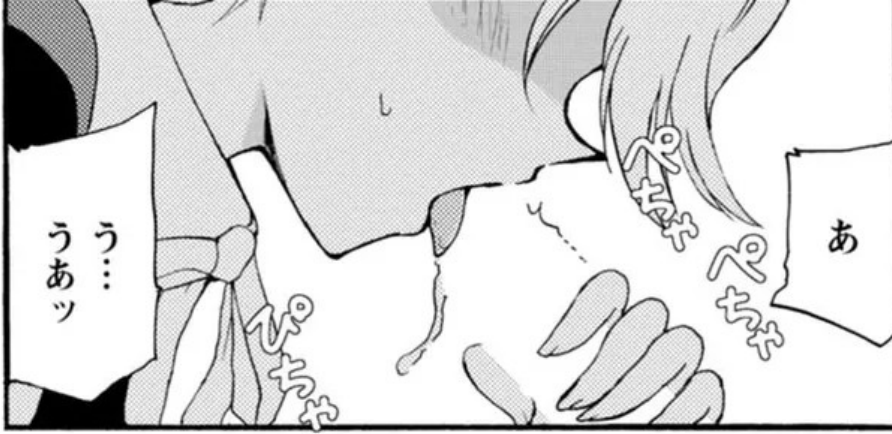
元々持ち回りの
予定でしたし…
様々な相手と
経験を積んでみるのも
よいことではないかと

そもそもボクは
奉仕担当自体
いなかったらう
言っただろう







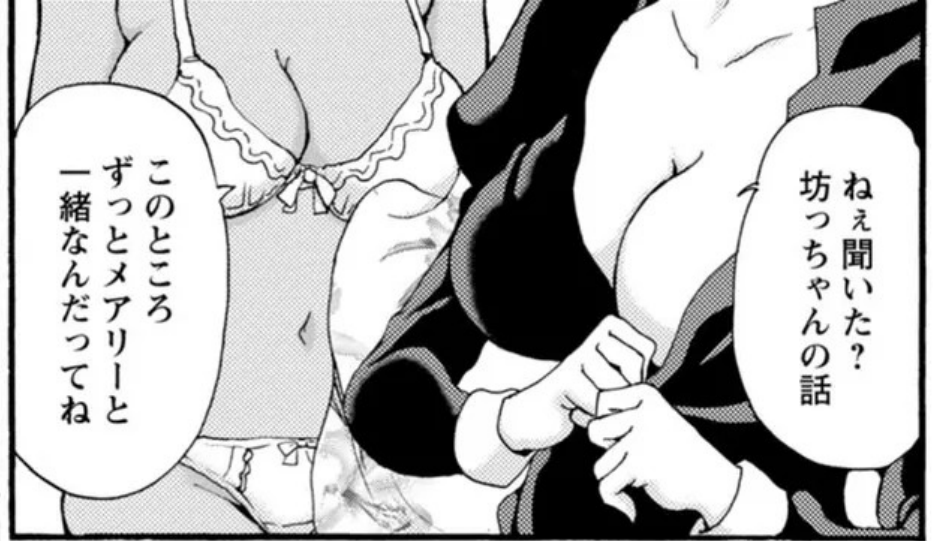






そういうば
確かに…屋敷の
色んなところで
見るわね

この間も…



ねえ聞いた？
坊っちゃんの話

このところ
ずっとメアリーと
一緒なんだってね



外出に
連れ出したりも
してるらしいわよ

きゃー

ウツソー！！



そんな
お気に入り
なんだあ

へえ…



よっぽど
離れたく
ないのねー

でも
メアリー以外の
奉仕係は
いないって
言ってるんじょ
？



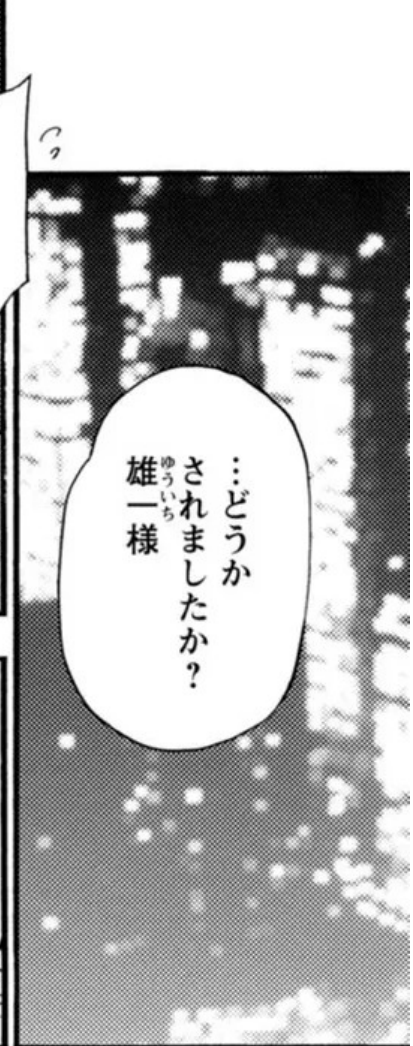
まさかメイドに
本気になったり
しないでしょ



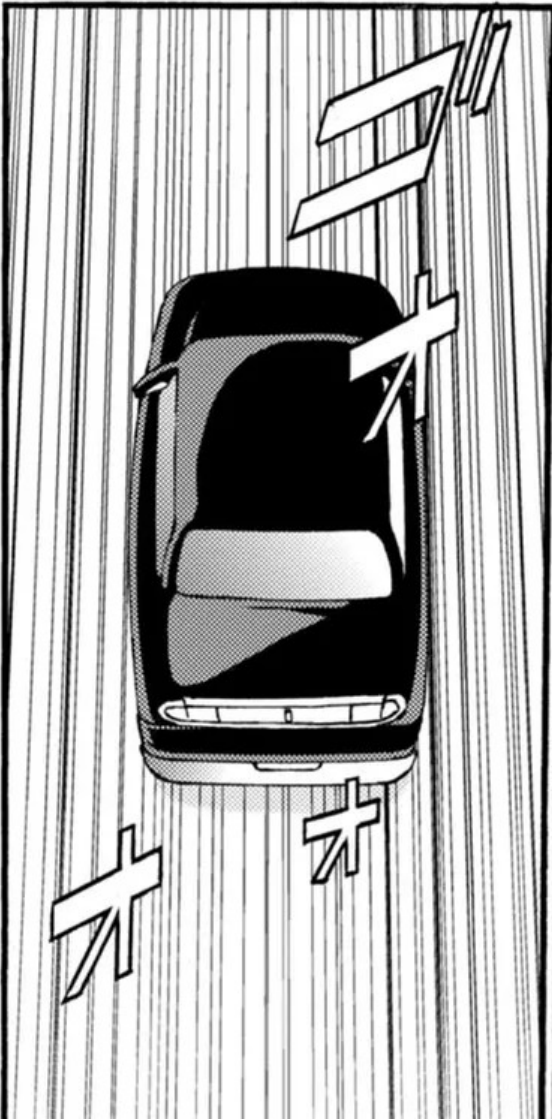
婚約者との
お話も進んでる
でしょうに

そこまで
入れ込んで
大丈夫かしら

流石に線引きは
できてるんじや
ない？

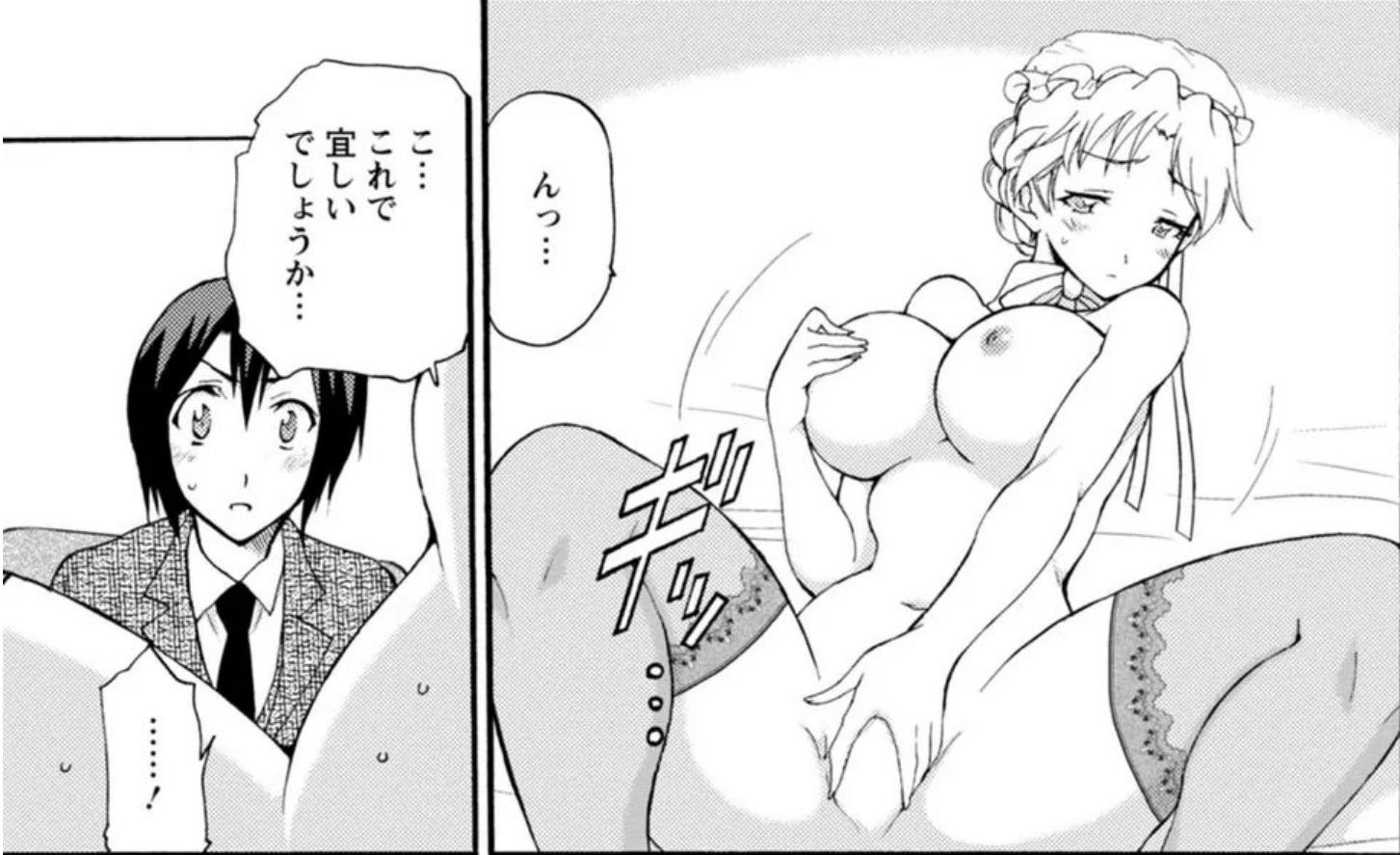












こ…
これで
宜しい
でしょうか…

んっ…

ギツ
ギツ



よ…よし…
そのまま…
自分でいじって
みる

気持ちいい
ところを
丹念にな

はっ…
はい…

クチュ
クチュ

あっ…



どこが
感じるんだ…?
言ってみろ

は…
はい…

すごく…
感じます

こ…この
突起の部分が
すごく…

ちゅ
ちゅ

じゅっ…

はアッ



はアッ

落ちつけ…



あんっ…

あっ…
あッ

んちゅ
んちゅ

んちゅ
んちゅ



そうさ…
ボクと同じ…
特別な感情
なんて何も

ボクのことなんて
何とも思っちゃ
いない



こいつはただ…
仕事でやってる
だけだ

ずん

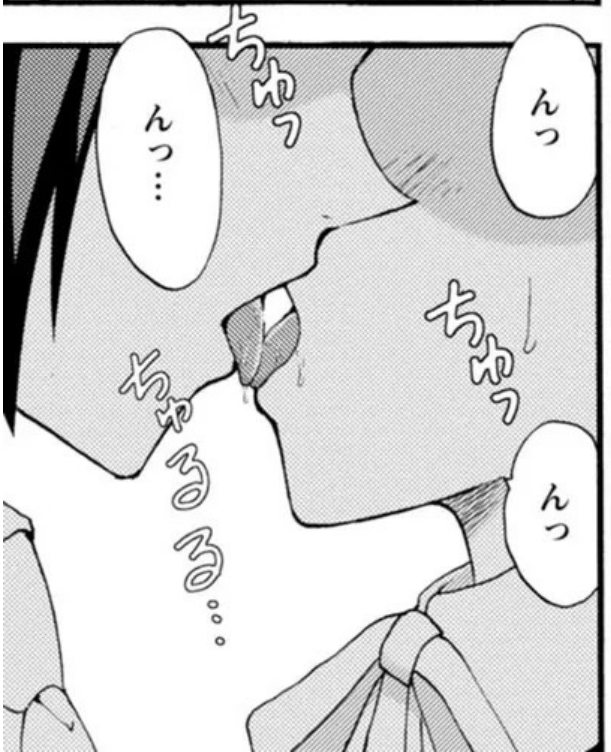
ずん

ずん



坊っちゃんま…?















妻に
なつて
くれないか

フフツ…
いけませんよ
坊っちゃんま

また
そのような
ご冗談を

……

坊っちゃんま…？

to be continued

**僕専属メイドが言うことを聞かない
～夜のご奉仕で主従逆転!?!～**

④

乙丸

© 乙丸／秋水社ORIGINAL